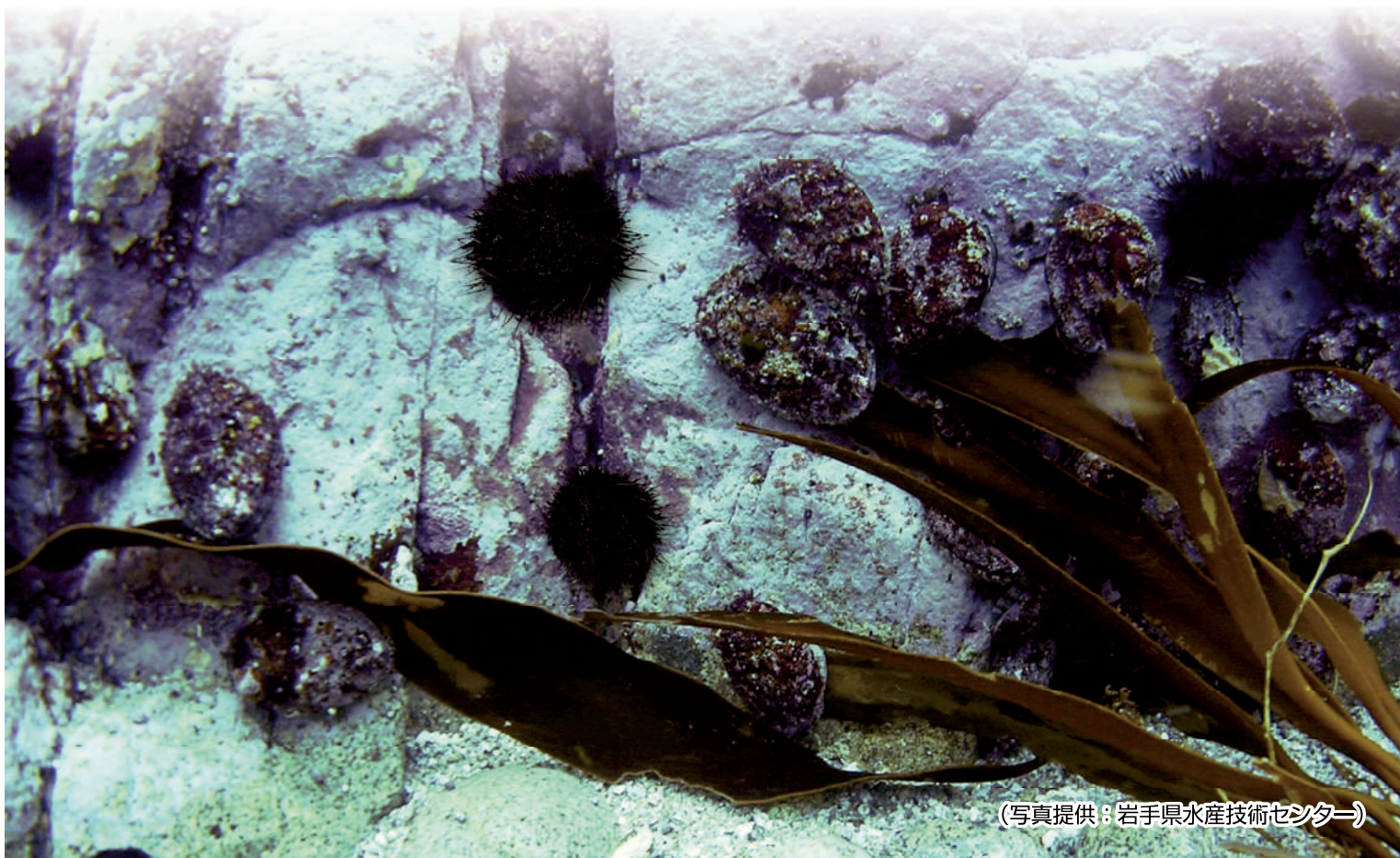

一般社団法人 岩手県栽培漁業協会

要 覧



(写真提供：岩手県水産技術センター)

栽培漁業協会設置の 背景と目的



栽培漁業は、海が本来持っている生産力を利用し、水産資源を積極的に開発育成しながら合理的に漁獲するものです。

本県沿岸漁業の主要な魚種であるアワビ、ウニ、ヒラメ等の資源を安定的かつ持続的に利用するためには種苗放流を行い栽培漁業を推進する必要があります。

そのため、本県では、昭和56年に大船渡市に県営の「栽培漁業センター」さらに昭和61年には県北の種市町に「北部栽培漁業センター」が設置され、アワビ、ウニ、ヒラメ等の種苗生産と放流・管理手法の研究開発が図られてきました。

この間、漁業を取りまく環境は厳しさを増しましたが栽培漁業のよりいっそうの展開を図る重要性も高まり漁業者自らが参画して強力に推進する体制を確立することとなり、平成6年3月に県をはじめ沿岸市町村、漁業団体など69の会員による「社団法人 岩手県栽培漁業協会」を設立し、県が建設した種苗生産施設の運営母体として種苗の生産供給を行うとともに栽培漁業技術開発、普及・啓発等を行っています。

当協会は、このようにして、栽培漁業の展開により、沿岸漁業の振興を図り、明るい漁村づくりに貢献することを目的としております。

変遷

HISTORY

- ◆昭和56年 大船渡市に県営の「栽培漁業センター」（後に南部栽培漁業センターに変更）が設置される。
- ◆昭和61年 種市町（現在の洋野町）に「北部栽培漁業センター」が設置される。
- ◆平成6年 県をはじめ沿岸市町村、漁業団体など69の会員による「社団法人岩手県栽培漁業協会」が設立される。県が建設した種苗生産施設の運営母体として、種苗の生産供給を行うとともに栽培漁業技術開発、普及・啓発等に取り組む。
- ◆平成23年 3月11日に発生した東日本大震災津波により、協会全生産施設は全壊。職員従業員は全員避難し無事だったが、生産中の種苗のすべてが流出した。
- ◆平成25年 津波により全壊した生産施設が全復旧となり、種苗生産を再開。
- ◆平成26年 一般社団法人へ移行。

栽培漁業協会の概要

■設立 平成6年3月14日

■事務所

本 所 岩手県大船渡市末崎町字鶴巻120番地
 種市事業所 岩手県九戸郡洋野町種市20地割177番地

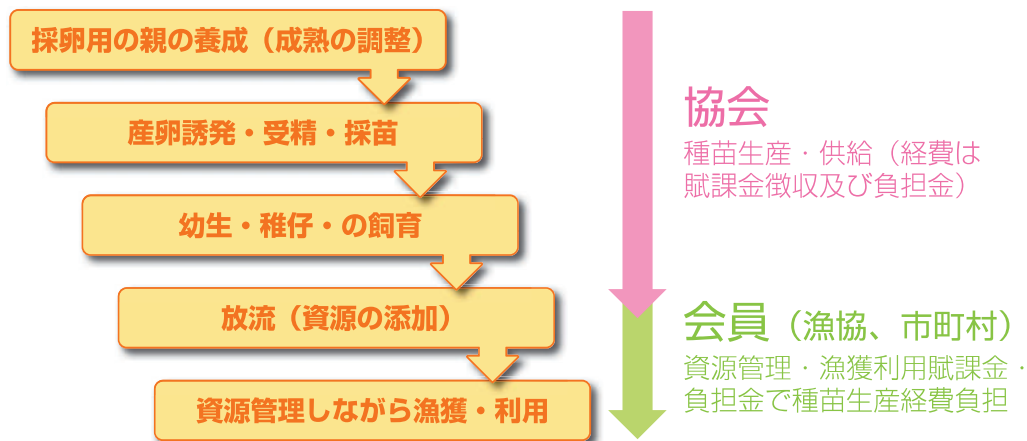
■事業

- 1 種苗の生産及び放流に関する事業
 アワビ、ウニ、ヒラメ、アユ、ナマコ等の種苗生産
- 2 栽培漁業に関する技術の開発及び指導に関する事業
 新たな栽培漁業対象種の種苗生産技術開発及び研修
 受け入れ指導等
- 3 栽培漁業の知識の普及・啓発に関する事業
 普及・啓発広報資料の作成配布、展示施設の維持管理及び施設見学案内等



■会員

正 会 員：県内の漁業関係団体、県内市町村及び県 正 会 員 数 51（平成29年4月現在）
 賛助会員：本協会の事業に賛助する団体又は個人 賛助会員数 12



■種苗生産の種類、計画、時期

種苗生産 (サイズ)	計画目標 の概数	生産サイクル											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アワビ (25mm)	400万個	採卵 → (4月) → (5月) → (6月) → (7月) → (8月) → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) ← 幼生管理・採苗 → (4月) ← (5月) ← (6月) ← (7月) ← (8月) ← (9月) ← (10月) ← (11月) ← (12月) ← (1月) ← (2月) ← (3月) ← 前年採苗群出荷 → (4月) → (5月) → (6月) → (7月) → (8月) → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) →											
ウニ (17mm)	250万個	採卵 → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) → 幼生管理・採苗 → (9月) ← (10月) ← (11月) ← (12月) ← (1月) ← (2月) ← (3月) ← 屋外水槽飼育・出荷 → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) → 前年採苗群出荷 → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) →											
ヒラメ (60mm)	110万尾	採卵 → (5月) → (6月) → (7月) → (8月) → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) → 稚魚飼育 → (5月) ← (6月) ← (7月) ← (8月) ← (9月) ← (10月) ← (11月) ← (12月) ← (1月) ← (2月) ← (3月) ← 中間育成・放流 → (5月) → (6月) → (7月) → (8月) → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) →											
アユ (0.6g)	3,000kg	採卵 → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) → 稚魚飼育・出荷 → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) →											
ナマコ (30mm)	50万個	採卵 → (7月) → (8月) → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) → 飼育・出荷 → (7月) → (8月) → (9月) → (10月) → (11月) → (12月) → (1月) → (2月) → (3月) →											

主な施設の概要

◎本所（大船渡市末崎町）

◆敷地面積：30,273㎡

◆海水取水ろ過設備

第1～3取水設備総取水能力2,820t/h

第1・2取水：海底ろ過、第3取水：加圧式
タンク陸上ろ過

◆飼育海水温度制御施設：

アワビ採苗用調温ボイラー 4台

魚類関係調温ボイラー 2台

◆アワビ種苗生産飼育施設

母貝飼育水槽：アクリル製1トッー10面

採苗水槽：FRP製2トッー24面

飼育水槽：巡流式アクリル製32トッー40面、かけ流し式FRP製20トッー48面

◆魚類種苗生産飼育施設

親魚養成水槽：RC製楕円形55トッー6面、FRP製アルテミア孵化水槽4トッー9面

飼育水槽：RC製楕円形60トッー6面、FRP製円形50トッー8面（全飼育水槽自動給餌システム装備）

餌料培養設備：一式



本所



取水・ろ過施設



アワビ巡流水槽



魚類飼育棟内部

◎種市事業所（洋野町種市）

◆敷地面積 26,891㎡

◆海水取水ろ過設備

取水設備総取水能力1,000t/h重力式ろ過

◆飼育海水温度制御施設

ウニ等採苗用調温ボイラー 2台

◆ウニ等種苗生産飼育施設

浮遊珪藻培養水槽：パンライト500Lー16面

浮遊幼生飼育水槽：パンライト500Lー70面

FRPウォータバス水槽10トッー10面

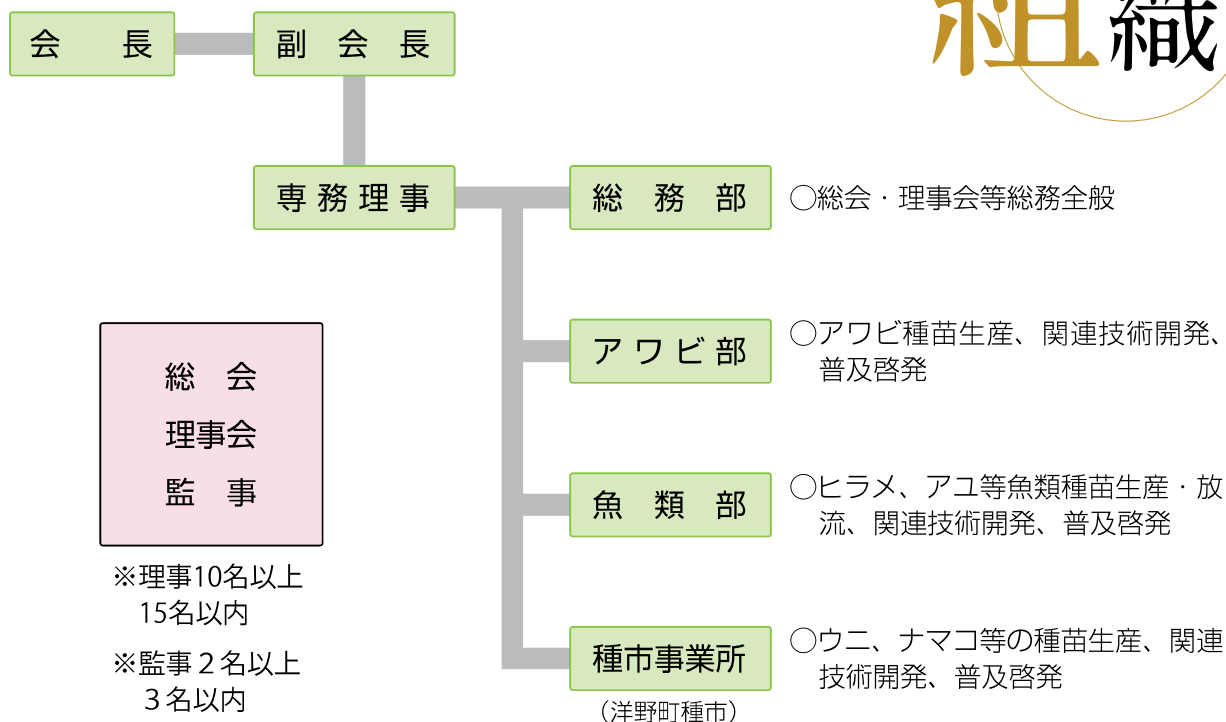
採苗水槽：かけ流し式FRP長方形5トッー20面

飼育水槽：かけ流し式FRP長方形10トッー197面



種市事業所

組織

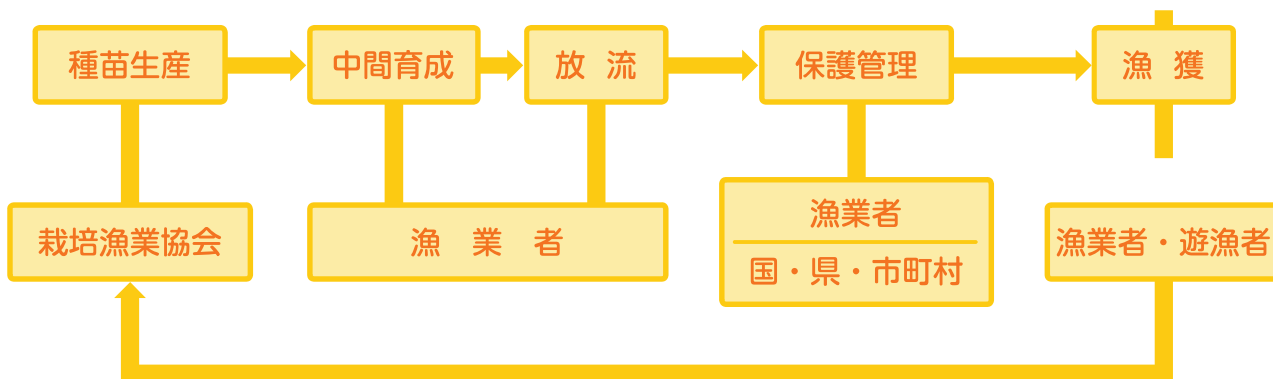


※職員数9名、従業員数42名（平成29年3月末現在）

栽培漁業の推進体制

栽培漁業とは、種卵から育てた稚仔を、自然環境に適合でき生残率が高くなるサイズまで育成した後、海に放流し自然の海の中で成長させ、合理的に漁獲しようという漁業です。

栽培漁業を推進するためには、漁業に携わるすべての人々が、漁業資源を守り育てていこうという強い認識を持って、協力しあうことが大切です。

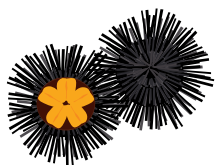


賦課金・負担金・水揚協力金・遊漁協力金など

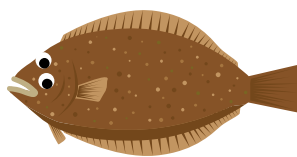
みんなで栽培漁業を成功させよう



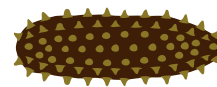
アワビは岩手の海の宝



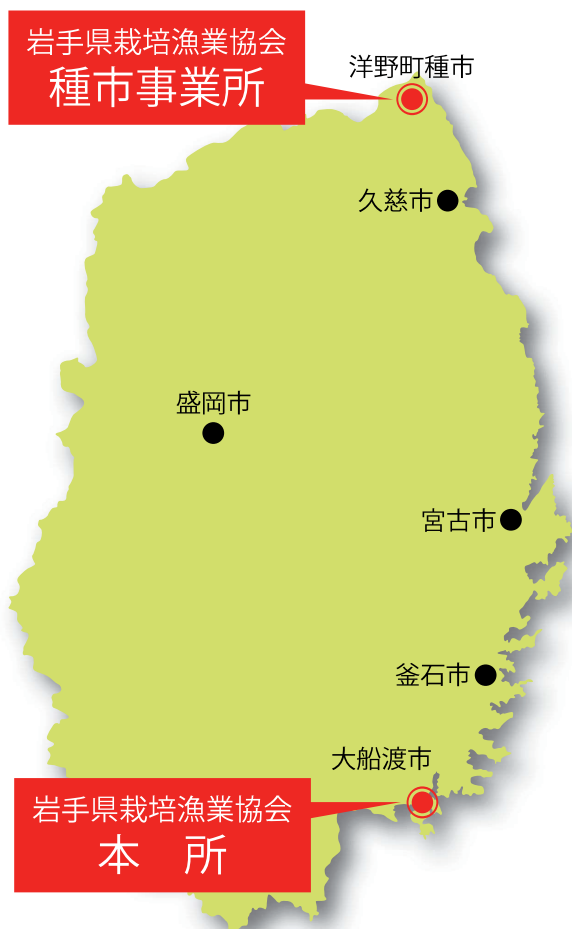
ウニの資源を増やそう



30cm未満のヒラメは再放流



ナマコ種苗を放流しよう



種市事業所（洋野町種市）



本所（大船渡市末崎町）



一般社団法人 岩手県栽培漁業協会

【本 所】 〒029-0001 岩手県大船渡市末崎町字鶴巻120番地
TEL 0192-29-2135 FAX 0192-29-3099

【種市事業所】 〒028-7915 岩手県九戸郡洋野町種市20地割177番地
TEL 0194-65-4750 FAX 0194-65-4706

【ホームページ】 <http://www.it-saibai.or.jp>